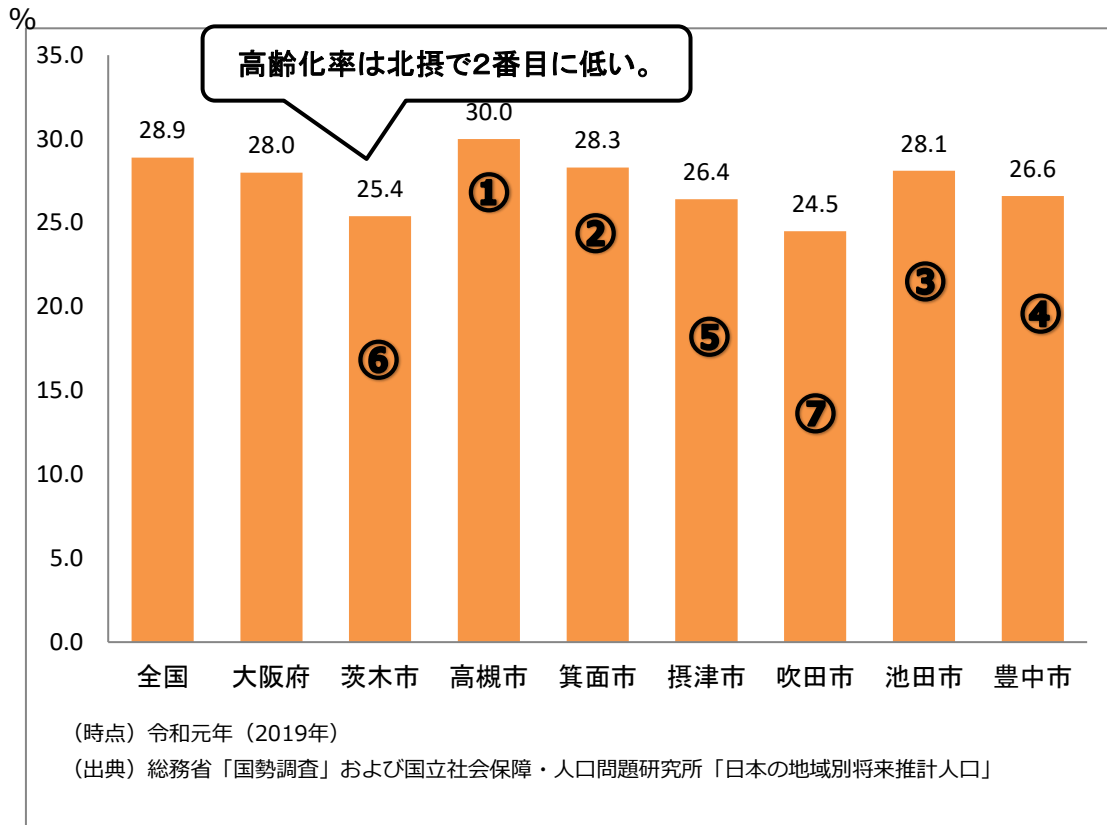
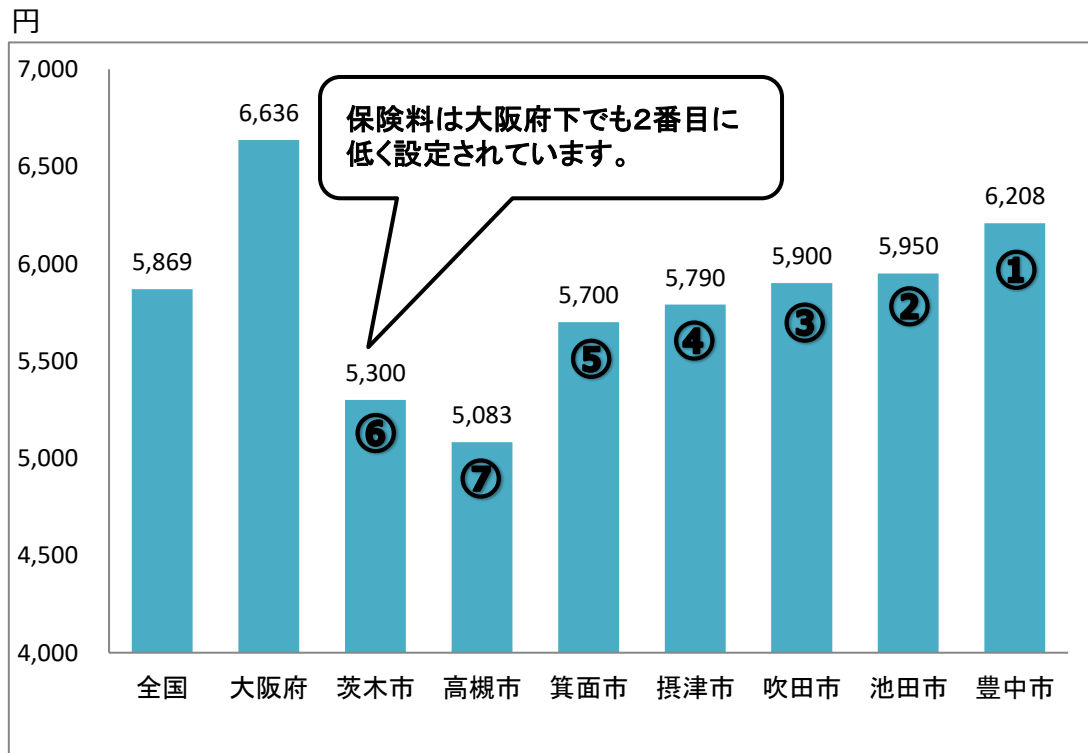


■ 高齢化率の状況

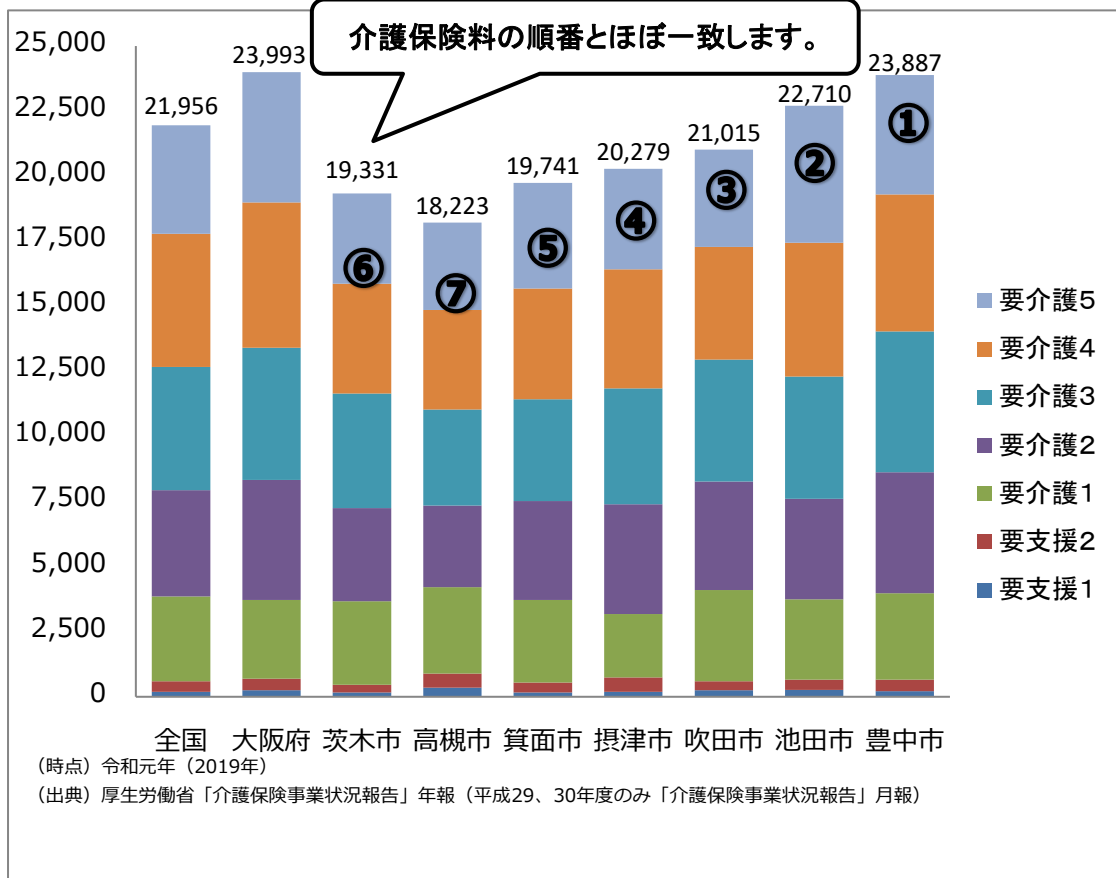


■ 第7期(平成30年から令和2年度)介護保険料(月額)

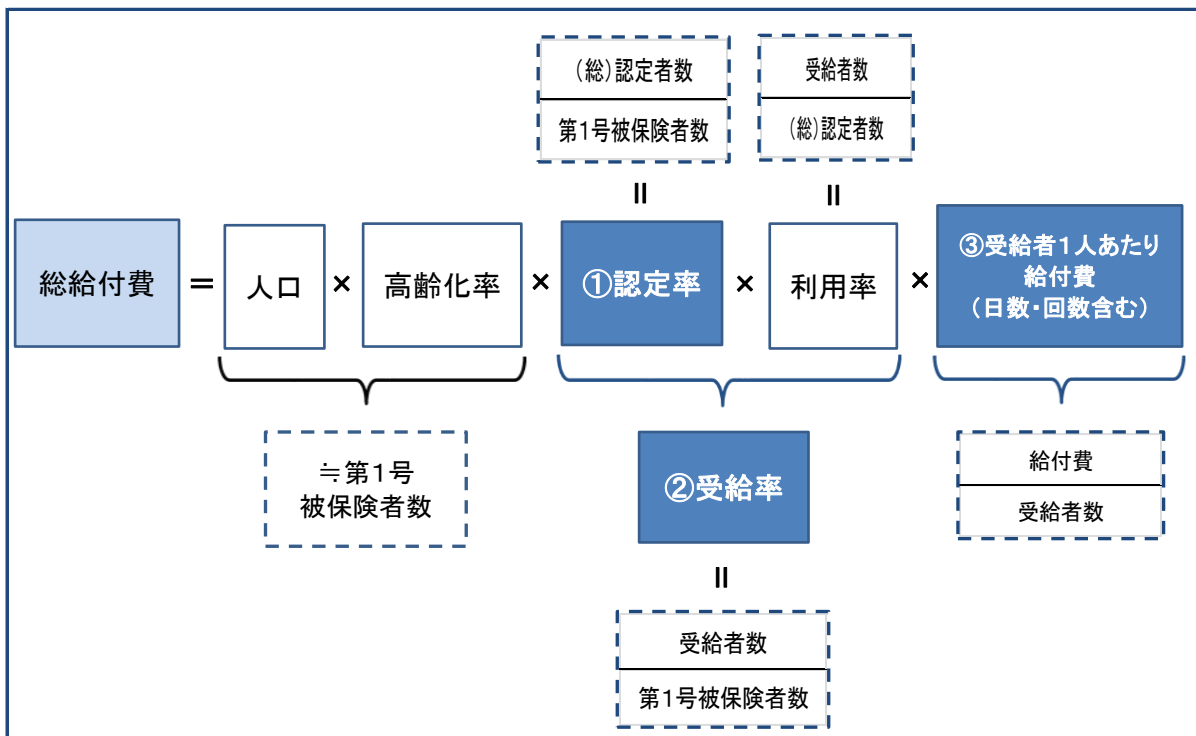


■ 第1号被保険者一人あたり給付月額

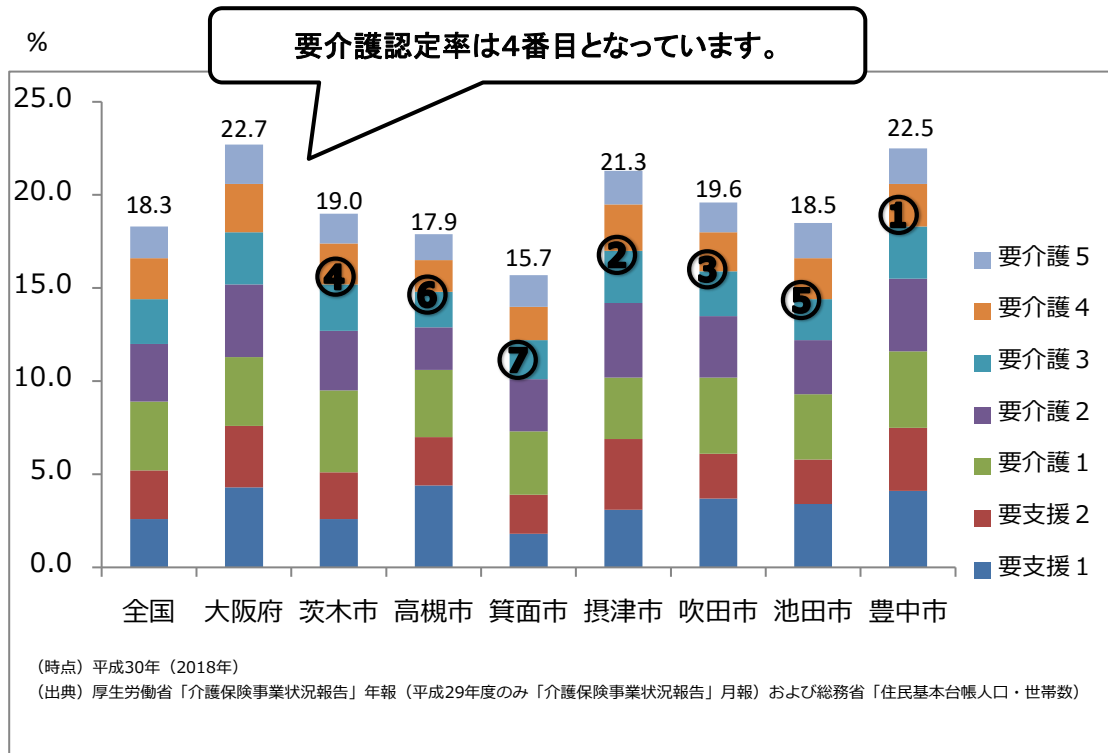
円



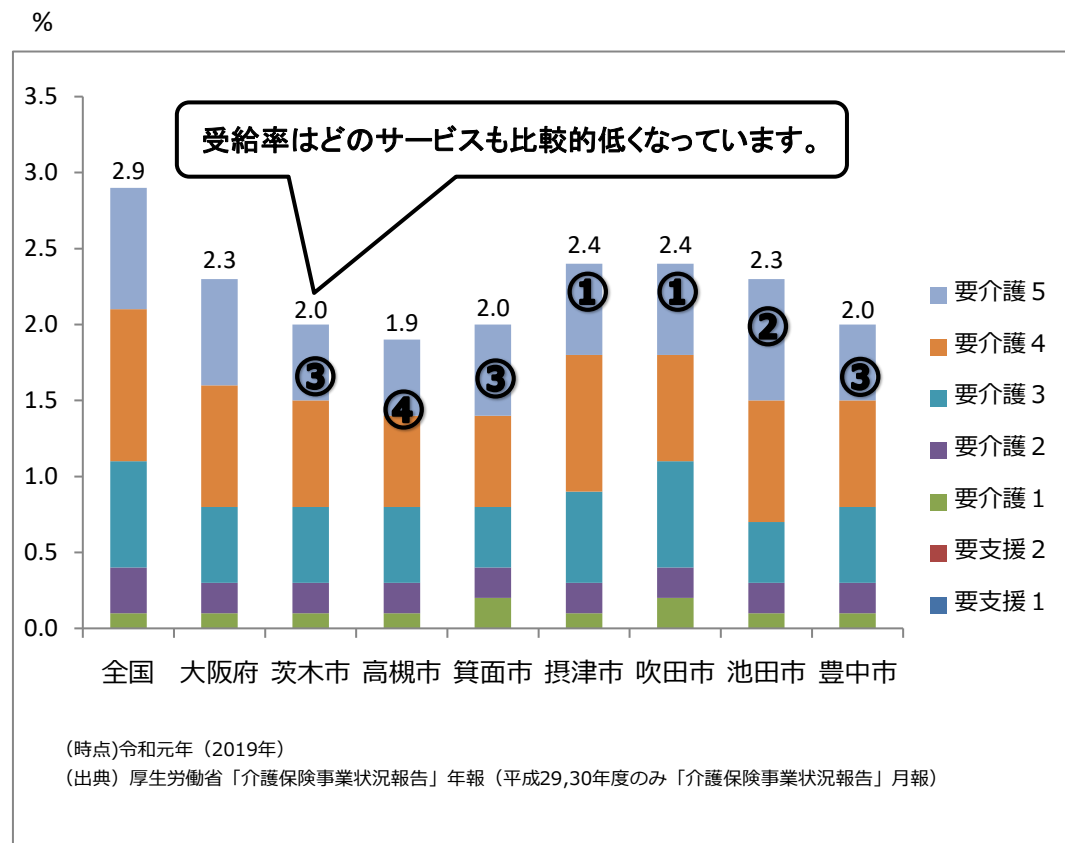
■ 給付費と3つの要素との関係



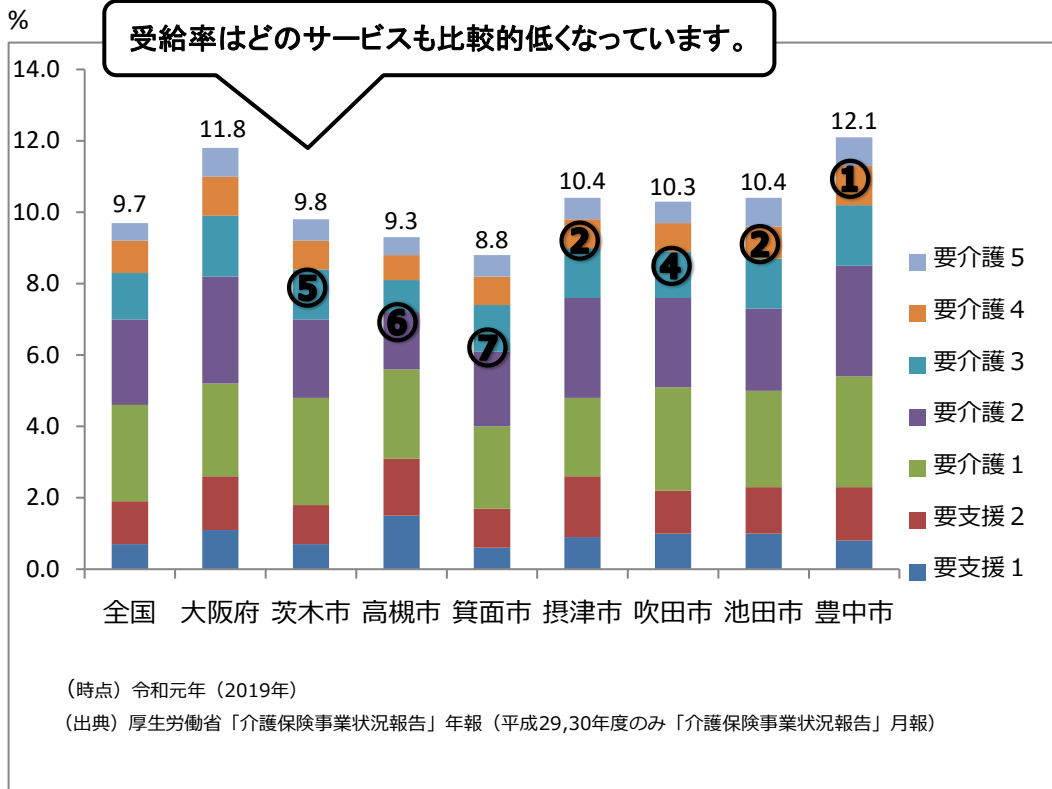
■ 要介護度別認定率(年齢・性別 調整後)



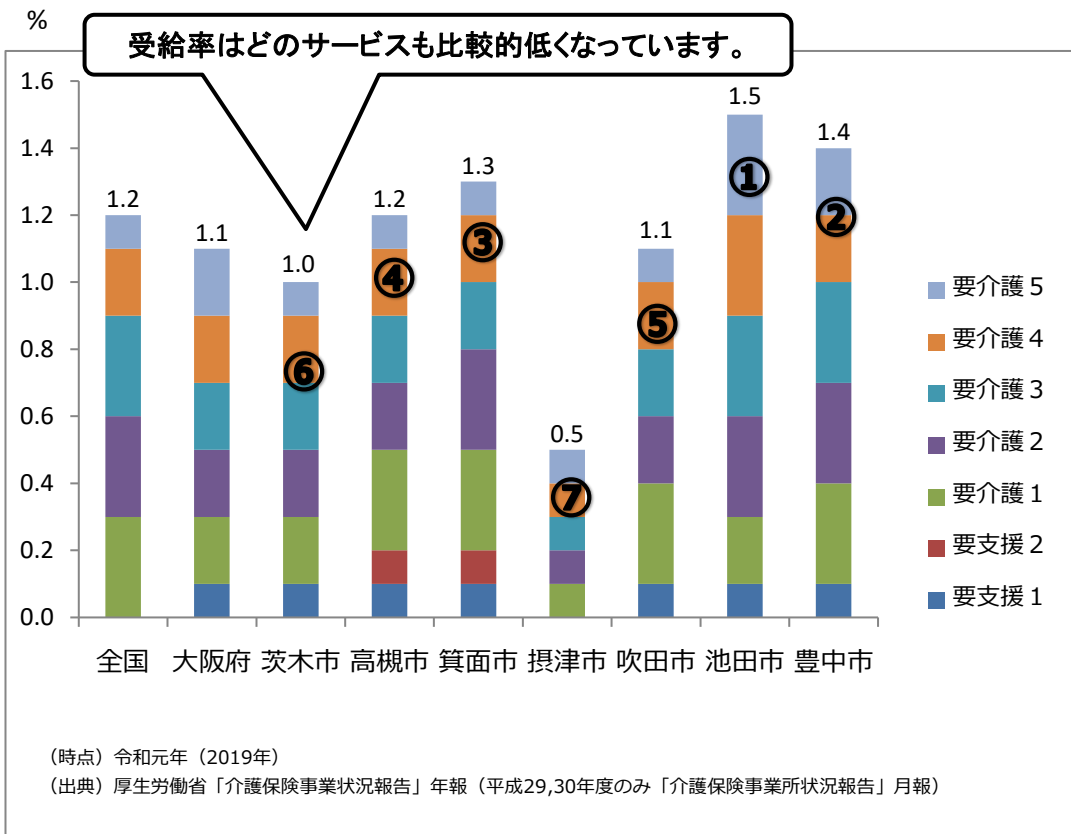
■ 受給率(施設サービス)(要介護度別)



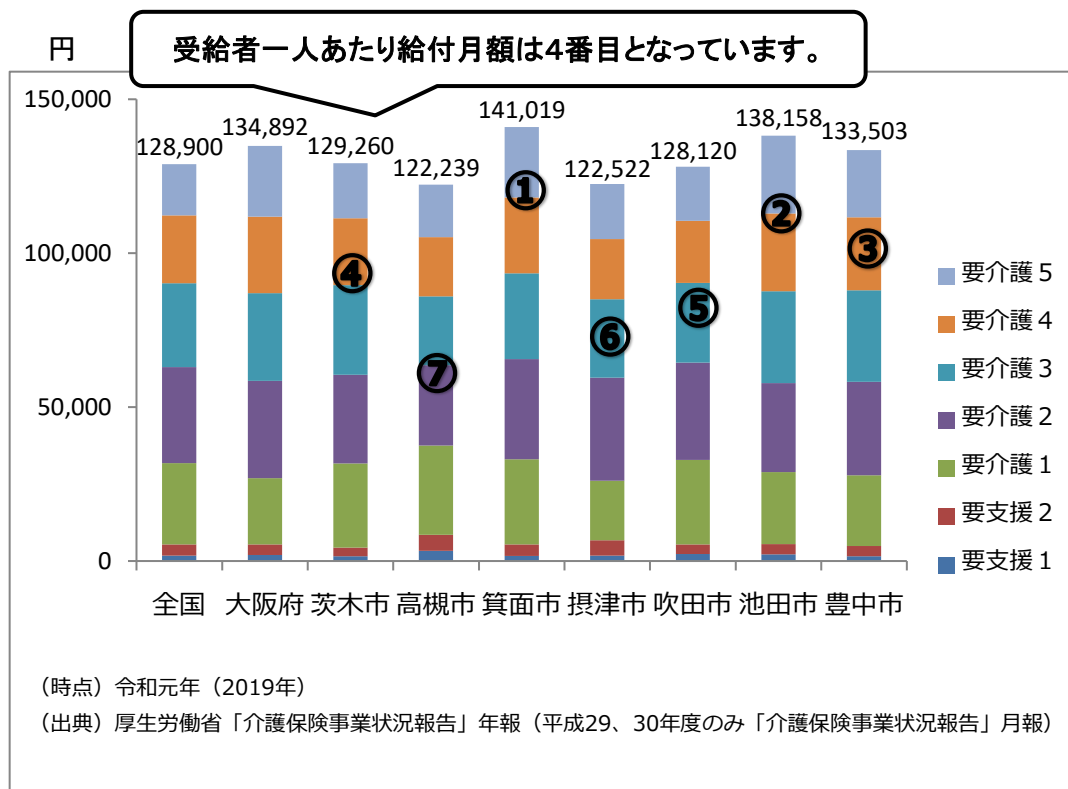
■ 受給率(在宅サービス)(要介護度別)



■ 受給率(居住系サービス)(要介護度別)



■ 受給者一人あたり給付月額(円)(在宅および居住系サービス)



■ 茨木市の傾向

①高齢化率が低いにもかかわらず、要介護認定率(年齢・性別調整後)が全国平均を上回っていることから、要介護認定申請をする方が多い傾向にあると言えます。

②要介護認定率(年齢・性別調整後)が高いにもかかわらず、受給率は全国平均を下回っていることから、認定を受けた後サービスに結びついていない、もしくは必要性の低い認定申請が多い可能性が考えられます。

③第1号被保険者1人あたり給付費は全国平均よりも下回っていることから、介護サービスの利用状況は適切であり、その結果介護保険料が全国平均よりも低くなっています。